

日沿道への取り組みと

本町のビジョンは

太田 薫 議員

目指します日沿道の早期実現



問 日沿道全面開通は当地域にとって必須の課題である。この度の県知事の緊急提言は、

道路は私的財か公共財かという問題に答えを見るものであり、道路は採算性だけでは語れない。

県内を訪れ最上川・羽黒山を観光し、そこから佐渡に向かってしまう観光客は三百万人もいると言われている。

本町においては、ここ十数年来高速道路の利活用を念頭においた地域活性ビジョンを模索してきたと思うが、高速道路の実現か否かにとらわれずとも、将来を占うべく大き

な視点から見た観光ビジョンがあるべきだ。高速交通網と観光ビジョンについて伺う。

町長 高速交通網体系の整備は、産業経済・災害・医療対策はもとより、人物・情報を短時間で津々浦々まで運ぶことが可能なように均衡ある国土発展を図っていくことが大変重要な国家戦略であると考えている。

本町では平成六年に日沿道建設促進遊

佐町期成同盟会をたち上げ、遊佐町の持つ特色や可能性を最大限に活かしながら高速道路ネットワークの確保に向け多彩な運動を展開してきた。

特に首都圏から注目され脚光を浴びている鳥海山を前面に出し、多くの観光客の誘致を図るために高速道路の必要性と早期建設促進、さらには遊佐インター（仮称）の設置を強く要望してきたところである。

今後も継続し確定するまで、各機関、団体と連携を図りながら一層強力で運動を展開していきたい。



早期実現が待たれる日沿道